

CentreCOM® 8224XL リリースノート

ファームウェアバージョン 1.2.4J

この度は、CentreCOM 8224XL(以下「C8224XL」または、「本製品」と略記)をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。

このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用の前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。

最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1. Version 1.2.4J で修正された項目

本バージョンでは、前バージョン(1.1.3J)から下記の項目が修正されました。


- 1.1 スパニングツリー機能を有効にした場合、ソフトウェアリセット時におけるトラップ(warmStart) およびハードウェアリセット時におけるトラップ(coldStart)が正しく送出されるようになりました。
- 1.2 ポートスパニングツリー設定で[Enable Spanning Tree]オプションを有効にした場合、BPDUのパラメータが正しく反映されるようになりました。
- 1.3 ポートスパニングツリー設定画面におけるポート選択で、2桁のポート番号が正しく指定できるようになりました。
- 1.4 802.1Q タグ付きポートにおいて、C8224XL 本体に対する ping の reply にタグが付加されるようになりました。
- 1.5 SNMP 機能において、以下の MIB Object が正しくカウントアップされるようになりました。
dot3StatsSingleCollisionFrames
fstswitchEthPortMonTxCollisions
etherstatsCollisions
- 1.6 VLANのID(VID)を変更後、そのVLANで学習されたMACアドレスが正しく表示されるようになりました。

2. Version 1.2.4J での制限事項


2.1 スタティック MAC アドレステーブルについて

以下の機能は、現在未サポートとなっています。あらかじめご了承ください。


スタティック MAC アドレス表示 「All Static MAC Addresses」

 「オペレーションマニュアル」 2-93 ページ


スタティック MAC アドレスの追加・消去 「Add MAC address/Delete MAC address」

 「オペレーションマニュアル」 2-95 ~ 2-98 ページ

マルチキャストアドレスの追加・削除 「Add MAC address/Delete MAC address」

 「オペレーションマニュアル」 2-100 ~ 2-103 ページ


スタティック MAC テーブルの消去 「Clear static MAC table」

 「オペレーションマニュアル」 2-104 ページ


2.2 「MAC アドレス(Ethernet address)」によるシステムの指定方法について

下記画面内およびマニュアル内で、ネットワーク上の他のシステムを指定する方法として「MAC アドレス(Ethernet address)」が記載されていますが、「MAC アドレス(Ethernet address)」による指定は未サポートとなっております。


ソフトウェアのダウンロード(ネットワーク上のシステム)「Update software in another system」

 「オペレーションマニュアル」 2-22 ~ 2-23 ページ

リモートシステムへの接続 「Connect to a remote system」


 「オペレーションマニュアル」 2-28 ページ

Ping テスト 「Ping a remote system」

 「オペレーションマニュアル」 2-29 ページ

2.3 拡張モジュールについて

拡張モジュールを一枚のみ使用する場合は、上段のスロット(スロットA)に装着してください。

 「ハードウェア設置マニュアル」 3-7 ~ 3-8 ページ

AT-A15/SX・AT-A15/LX をご使用の際は、GBIC モジュールの取り外し、他の GBIC モジュールとの差し替えはしないでください。他の GBIC モジュールを装着した場合のサポートはしておりません。


2.4 SNMP 機能について

スパニングツリー機能無効時において [Administration] メニューの [Reset and restart the system] 実行時(ソフトウェアリセット時)に出力されるトラップは、coldStart です。

2.5 設定変更時のご注意


システムの設定変更(ミラーリング機能設定をのぞく)を行った後は、[Main Menu] -> [Administration] とすみ、[Reset and restart the system] メニューを実行し、システムをリセットしてください。

2.6 通信モード固定設定時のご注意

「オペレーションマニュアル」2-6 ~ 2-7 ページ


本製品の10BASE-T/100BASE-TXポートを、Full duplex/Half duplexモード固定に設定し、他機器と接続した場合、本製品をリセット後再接続できない場合があります。
このような場合は、Auto negotiate モードにて他機器との接続を行ってください。

2.7 Xmodem ダウンロード機能について

「オペレーションマニュアル」2-26 ~ 2-27 ページ


[XModem software update to this system] メニューを実行後、ソフトウェアのダウンロードをやむをえず中断する場合は、電源ケーブルを接続し直してください。

2.8 1000BASE-X アップリンクポートの Auto negotiate モード設定時のご注意

「オペレーションマニュアル」2-6 ~ 2-7 ページ


1000BASE-X アップリンクポートを Auto negotiate モードに設定し、他機器と接続した場合、本製品をリセット後再接続できない場合があります。
このような場合は、Full duplex/Half duplexモード固定設定にて他機器との接続を行ってください。

2.9 1000BASE-X アップリンクポートのポートランキング機能について

「オペレーションマニュアル」2-52 ~ 2-54 ページ

1000BASE-X アップリンクポートにおいて、ポートランキング機能は未サポートとなっております。


2.10 1000BASE-X アップリンクポートのポートミラーリング機能について

「オペレーションマニュアル」2-55 ~ 2-57 ページ

C8224XL のソフトウェア(プロトコルスタック部分)から送信されるパケット(BPDU、ARP reply、trap など)は、ミラーリングされません。

3. Version 1.2.4J での機能追加

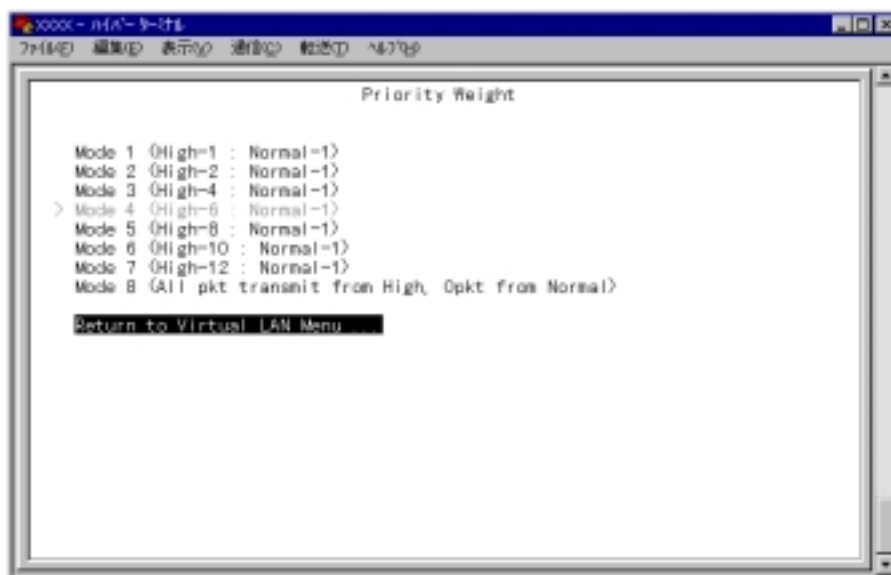
3.1 帯域保証の割合設定(Priority Weight configuration メニューの追加)

 「オペレーションマニュアル」 2-76 ページ

ファームウェア Version 1.1.3J 以前は、プライオリティキュー High・Normal の帯域保証の割合は 6 対 1 の固定でしたが、Version 1.2.4J より帯域保証の割合を 8 つの Mode より選択することが可能になりました。

帯域保証の割合の設定手順

1. [Main Menu] -> [Virtual LANs/Qos] -> [Priority Weight configuration] とすすみ、次の画面を表示します。



2. 帯域保証の割合を Mode 1 ~ Mode 8 より選択します。デフォルトは Mode 4 (High-6 : Normal-1) です。
Mode 1 ~ Mode 7 の括弧内の表示、「High- X(1, 2, 4, 6, 8, 10, 12) : Normal-1」は、High プライオリティキューのパケットを X 個送信後に Normal プライオリティキューのパケットを 1 個送信することを示します。
「Mode 8(All pkt transmit from High, Opkt from Normal)」は、High プライオリティキューのパケットを全て送信後、Normal プライオリティキューのパケットを送信することを示します。